

LFPとは

- 地域の農林水産資源を活かし、食品企業を中心に持続可能なビジネスモデルを創出するため、経済的利益と地域の社会的課題の解決の両立を目指す商品開発を支援
- 都道府県ごとに食に関わる多様な関係者が参画する「LFPプラットフォーム」を構成して推進（R3年度は22道府県が実施、北海道LFPプラットフォームには320の企業・団体が参加）
- 都道府県ごとに、LFPプラットフォームの合意のもと、**年度あたり1件の商品開発支援プロジェクトを決定し、商品開発と販路確保の経費を補助**

北海道LFPの事業戦略

※北海道LFPプラットフォームにおけるワークショップ及び戦略会議により決定

テーマ	UMAMI王国北海道
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○「うまみ（※）」をテーマに商品とビジネスの開発を支援 ○「北海道ブランドに依存した商品づくり」からの脱却を図るため、2類型（下記参照）に基づいて産業モデルづくりを支援する。 ○将来的には、輸出につながる商品づくりも目指す。 <small>※調味料のほか、食品素材を風味を増す目的で加工し、他の食材との組み合わせで食の豊かさを増すことが期待されるもの</small>
産業モデルの類型	<p>I) 地元経済活性型：「うまみ」による地元経済の発展を目指すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地元消費への回帰支援 ②産官学金の横断的連携 ③（特にEC等の活用を意識した）発信力と販売スキルの強化 <p>II) 産業創出型：「うまみ」による新産業の創出を目指すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ①エビデンスによる差別化 ②消費者ニーズの把握 ③ニーズを踏まえた原材料開発+技術開発+安全安心健康の担保

<「ゆめせんか」の特徴を活かしたたまねぎ調味料開発プロジェクト>について

※北海道LFPプラットフォームにおけるワークショップ及び戦略会議による合意のもと、令和3年度支援対象プロジェクトとして決定

「ゆめせんか」とは	北見農業試験場で開発されたたまねぎの加工専用品種。炒め調理における風味の良さ、甘みの強さ、歩留まりの高さ、焦げ色が付きにくい等の優位性を有する。
プロジェクトの内容	「ゆめせんか」の需要を喚起し、生産の拡大につなげるため、試作と市場分析を踏まえながら「ゆめせんか」の特徴を活かしたたまねぎ調味料を開発し、販路を開拓すること。
解決する社会的課題	<p>商品を通じて「ゆめせんか」の知名度を高め、品種の需要を喚起し、生産を拡大することにより、以下の解決を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品需要の確保による農業生産者の安定的収入の確保 ・加工分野における輸入たまねぎシェアの国産代替の促進 ・輸送及び製造過程における食品ロス、輸送及び調理時のエネルギー消費量の削減
北海道LFPによる支援	<p>事業戦略における「産業創出型」のモデル事業に分類。戦略に定める取組方針に基づき、以下を支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①科学的エビデンスによる商品特性の見える化、差別化 ②消費者ニーズの把握 ③ニーズを踏まえた商品コンセプトの練り上げと試作品開発